



「モノとコトの間を生きる一群れと意識」 クオリア AGORA2015 - 京都から挑戦する新 21 世紀づくり

郡司ペギオ・幸夫(早稲田大学基幹理工学部表現工学科教授)氏のスピーチを中心に、村瀬雅俊、高橋淑子、山口栄一3教授のコメントを交え、院生、研究者らがグループ討議。

ベイズ推論と逆ベイズ推論を結合確立の計算において直接的に実装する、という難解な複雑系研究の解説から、議論は展開発展。あいまいさ・無駄の効用を検討するグループ、あいまいさ・無駄と効用は相いれないとするグループ、郡司教授のレクチュアから東洋的あいまいさ・無駄と西洋的効用の一元化を試みるグループなど議論沸騰。

主催京都クオリア研究所、共催京都大学
会場京都大学楽友会館

平成 27 年 3 月 26 日(木)17:00~20:30

未来を創る財団から事務局長麻植 茂参加。

